

## iCEGP で理数科1年生が留学生と交流

2月15日(火)の2～4限の時間帯に、オンラインで開催されたiCEGP(一宮コンピテンシーエレメンタリーグローバルプログラム)で、理数科1年生の生徒が、岡山大学の留学生16人と交流しました。今回のiCEGPの目的は、自分の考えを英語で発表する力や英語で質問する力を育成することです。

プログラムの前半では、4会場に分かれてiCアカデミックイングリッシュの授業で作成した英語ポスターを使って発表を行いました。それぞれの会場で、4グループ(1グループ5名)が発表し、4人の留学生が発表についての質問やアドバイスをしてくれました。生徒は緊張しながらも英語で質問に答えていました。

プログラムの後半では、生徒5人と留学生1人の組み合わせでディスカッションを行いました。生徒は留学生に英語で出身国や研究領域について質問したり、留学生側からの質問に答えたりしました。

オンラインでの画面共有による発表は初めてでしたが、各自でジェスチャーを多用するなど工夫して、「コミュニケーション力」を高めることができました。また、ディスカッションでは全員が積極的に英会話に参加していて、「垣根を越える力」も高めることができました。この経験を来年度のiC理数探究Iに生かし、研究の事前調査の際にも英語を積極的に使って行ってもらいたいと思います。

## 【生徒の感想】

- 出身国や文化が違う人と英語でコミュニケーションをとる楽しさを身にしみて感じる事ができた。
- 今回の授業を通して英語を学びたいという気持ちがとても大きくなった。大きな成長をすることができた行事だった。
- 今回の取り組みは自分の人生の中で1位2位を争うほど興味深く楽しいものでした。英語の論文を日本語に訳し、その日本語文を元に英文を作ることにに関していうと、本当にこの文章で意味が伝わるか不安になり自分の経験の少なさを思い知りました。また、留学生の英語は聞き取るのに苦労しました。でも、英語を発することに面白さを感じました。

